今こそ本を読もう

蒲田駅前図書館が紹介する本

テーマ

大田区ゆかりの人々

内容

新興住宅地として開発が進んだ大森・山王と、丘と谷が複雑な地形を織りなす馬込。大正末から昭和にかけて、この一帯に多くの文士や芸術家たちが移り住むようになり、後の【馬込文士村】となったのはみなさんよくご存じの話。そこに集う文士たちが互いの家を行き交い酒を酌み交わしては文学談義に花を咲かせ、麻雀やダンスに相撲、果ては離婚騒動まで！文士たちの生き生きとした人間味あふれる姿に思いをはせながら彼らの作品に親しんでみては。

本リスト

タイトル	著者	出版社	出版年
新しい詩とその作り方	室生犀星	国書刊行会	2018
川瀬巴水	川瀬巴水	大田区立郷土博物館	2013
萩原朔太郎1914	菅谷規矩雄	大和書房	1979
馬込文士村散策マップ＋散策の栞	東京都大田区立郷土博物館編	東京都大田区立郷土博物館	2006
村岡花子と赤毛のアンの世界	村岡恵理	河出書房新社	2013
山本周五郎中短編秀作選集　1	山本周五郎	小学館	2005
私のしあわせ人生	宇野千代	毎日新聞社	1990
作品の中の大田区－文士・画家の描いた風景－	大田区立郷土博物館	大田区立郷土博物館	2018
泣いた赤鬼	浜田廣介／文　浦沢直樹／画	小学館	2011